

2016 年 10 月 21 日午後 2 時 7 分ごろ、鳥取県中部を震源とするマグニチュード 6.6 の地震が発生し、負傷者 26 人、住宅の損壊 800 棟の被害があった。

福祉施設は北栄町の老人保健施設で 80～90 代の利用者 3 人が転倒してケガしたほか、高齢者施設 24 か所、障害者施設 2 か所、児童施設 32 か所、救護施設 1 か所で建物の一部が損壊したり、外壁にひびが入

ったりするなどの被害があった。

被害が特に大きかった倉吉市、湯梨浜町、北栄町、三朝町では社会福祉協議会を中心に災害ボランティアセンターが設置され、がれきの撤去や家屋片付けなどが行われている。

(福祉新聞・第 2784 号 2016 年 10 月 31 日)

＜特集＞街の中の障害者アート

障害者アートの変遷と可能性 (本郷 寛)

「障害者の芸術活動支援モデル事業」の取組と今後の展望 (品川文男)

みんなの居場所となる美術館を目指して

「アール・ブリュット☆アート☆日本」展における取り組み (木元聖奈)

アートの力で地域とつながる (岡部太郎)

「障害者アート」からの解放 (今中博之)

街中まるごと美術館：商店街と協働した取り組み (小林瑞恵)

「共に生きるみんなの歌と踊りのつどい」

36 年分のあ・り・が・と・う (神野千代美)

アートでつながる—発達障害を知る展覧会— (霜田 恵)

会 期：2017 年 3 月 18 日 (土)・19 日 (日)

会 場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 (東京都文京区大塚 3-29-1)

大会テーマ：新たなステージでの、ソーシャルサービスとしての多職種連携とは—高齢者・障害児者の地域連携支援の今を学び、高度コーディネーション機能について考える

大会長：廣田栄子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
実行委員長：吉野眞理子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)

主 催：日本リハビリテーション連携科学学会

共 催：筑波大学

参加費：一般・前納 5,000 円、一般・当日 6,000 円、学生・前納 2,000 円、学生・当日 3,000 円、一般 (当事者の方) 3,000 円、介助の方は無料。

事前参加申し込み期限：2017 年 2 月 28 日 (火)

申し込み・お問い合わせ先：

E-mail：reha-renkei18@human.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ：http://www.reha-renkei.org/